

レッドアナラの25

全400口 | 1口出資額 70,000円(税込) | 総額 2,800万円(税込)

生産牧場 坂東牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



初仔からルージュラナキラ輩出の賢母、父に砂王を迎えダート三冠路線に挑む

現時点における馬体の特徴と適性

郡山特別、外房Sを連勝し、G3カペラSでは4着とした母は、ダート短距離戦向きのパワフルなスピードを武器としました。繁殖牝馬となり、その初仔から現役で走るオープン馬ルージュラナキラを送り出した母が、現代のダート系サイアーを代表する存在となっているホッコータルマエを父に迎えて誕生した本馬は、ダート戦線の大物となり得る器の持ち主です。高く力強いクビ、厚み深みがある胸筋が発達した胸前、腰にかけて理想的なラインを描く背中、形状が良く容量も大きいトモ、伸びやかでボリュームもある胴、特に気になることはない前肢、骨格がしっかりとした飛節の可動域が大きい後肢、これらのパーツからなる馬体は体幹の強さと完成度の高さを保持しています。父に似たタイプでもあり、半姉とは異なりマイル～中距離戦が躍進を遂げる舞台となってきそうです。



ホッコータルマエ
●GI・10勝、地方ダートサイアー2年連続1位

加藤征弘調教師コメント

ルージュラナキラ、レッドマウロアの姉妹と比較しても、本馬の方がより“ザ・ダート”という力強さを感じさせます。馬体には素晴らしいボリューム感があり、何より筋肉量が豊富。ダート適性の高さは疑いようがなく、体型からは中距離戦が主戦場になってくるのではとみています。ダートの頂点で、その名を轟かせられるだけのポテンシャルの持ち主。今はダート重賞も地方や世界にグレードの高いレースが設けられていますので、そのチャンスを掴むべく積極的に国内外の大舞台も狙っていきましょう。



血統関連馬 ルージュラナキラ

キングマンボ	Kingmambo	Mr. Prospector
キングカメハメハ	King Kamehameha	Miesque
鹿 2001	*マンファス	*ラストタイクーン
ホッコータルマエ	Manfath	Pilot Bird
Hokko Tarumae		
鹿 2009	チェロキーラン	Runaway Groom
マダムチェロキー	Cherokee Run	Cherokee Dame
Madam Cherokee		
鹿 2001	*アンフォイルド	Unbridled
	Unfoiled	Bold Foil
牡		
黒鹿毛		
2025.1.28生		
	マインシャフト	A.P. Indy
*カジノドライブ	Mineshaft	Prospectors Delite
Casino Drive		
栗 2005	ベターザンオナー	Deputy Minister
レッドアナラ	Better Than Honour	Blush With Pride
Red Anela		
鹿 2015	*ストラヴィンスキー	Nureyev
ウォンビーロング	Stravinsky	Fire the Groom
Won't Be Long		
鹿 2007	タイフウジョオー	*サンデーサイレンス
	Taifu Jo O	ラッキーゲスト

Mr. Prospector:S4×M5 Nureyev:M4×S5 Blushing Groom:S5×M5×M5



ファミリー(母系)

母の父 *カジノドライブは米国籍、中央・北米4勝、ピーター パンS-G2、フェブラリーS-G1 2着。主な産駒:カジノフォンテン(川崎記念-JPN1、かしわ記念-JPN1)、メイショウカズサ(浦和記念-JPN2)。【BMS:主な産駒】ルージュラナキラ(ラピスラズリS-L 3着)、ジョージテソーロ(南関東・京成盃グランドマイラーズ)、ハッスルダンク(鳥屋野特別)、ダバيشュクレ(佐賀・佐賀若駒賞)

母 レッドアナラ(15 *カジノドライブ) 4勝、外房S(D1200m)、郡山特別(D1150m)、カペラS-G3 4着。産駒
ルージュラナキラ(22 牝 鹿 アドマイヤマーズ) 4勝、セプテンバーS(芝1200m)、立待岬特別(芝1200m)、つわぶき賞(芝1400m)、ラピスラズリS-L 3着、◎

レッドマウロア(24 牡 鹿 クリソベリル) 未出走

祖母 ウォンビーロング(07 *ストラヴィンスキー) 3勝。産駒
レッドラパルマ(騙 イスラポニータ) 3勝、立志賞、◎
サツキマス(牝 *ノヴェリスト) 2勝
アルテンベルク(牡 レッドスパーダ) 北海道公 8勝

曾祖母 タイフウジョオー(94 *サンデーサイレンス) 4勝、鎌ヶ谷特別、赤松賞、菜の花S-OP 3着。産駒

エイシントイガー: 5勝、淀短距離S-L、葵S-L、京洛S-OP、黒松賞、C B C賞-G3 2着、ききょうS-OP 2着、橘S-OP 2着、京王杯2歳S-JPN2 3着、マーガレットS-L 3着、新潟2歳S-JPN3 4着、アイビスサマーダッシュ-G3 5着、南関東・石川・岩手公入着、習志野きらっとスプリント4着、オータムスプリントC 4着、OROカップ5着

ゼンノモナルカ: 3勝、東海公1勝、高知公9勝

メルシーヨーク: 3勝

レッドジョーカー: 3勝

四代母 ラッキーゲスト(87 *ラッキーソプリ) 不出走。産駒

カシマサキモリ: 3勝、野地特別、山桜賞、芙蓉S-OP 3着

五代母 ハッピートウメイ(80 アローエクスプレス) 2勝。産駒

ヘイセイエルザ: 東海公8勝、東海クイーンC 2着、東海ダービー3着、中

央3勝、阿武隈S、内外タイムス杯、瀬波特別、北関東公1勝

ユーフハッピー: 4勝、八海山特別、障3勝

トムファイター: 南関東公5勝、大井記念2着、金盃3着

配合診断

屈強な父を迎えダート色を濃厚に表現、確かな配合パターンで砂の栄光を奪取

母レッドアナラは、初仔のルージュラナキラが芝短距離路線でオープン入りを果たしたことで、ハイレベルな繁殖能力を証明しました。母の父カジノドライブはA.P.Indy系のパワータイプ。したがって基本的にはダート向きの繁殖牝馬ですが、芝向きのアドマイヤマーズと交配して芝短距離馬を出したところに、配合相手の長所を引き出す非凡な才能を感じます。本馬は最優秀ダートホースに選出されたホッコータルマエが父なのでダート向きでしょう。父の優れた産駒であるメイショウフンジン(佐賀記念)とカシマエスパーダ(不來方賞2着)は、いずれも母の父がA.P.Indy系のシニスターミニスター。母の父にA.P.Indy系を持ってくる配合パターンは信頼性が高く、本馬はこれに当てはまります。ダート志向でマイルから中距離をこなし、雨の影響で脚抜きがいい馬場になればさらに強さが増すはず。

管理予定調教師

加藤征弘調教師(美浦)

生年月日◆1965年9月14日 ◆2002年開業(25年目) ◆JRA通算720勝/JRA重賞15勝

※成績は2026年5月11日現在

【主な管理馬】

- シャドウゲイト: シンガポール空港国際C(G1) ●ノンコノユメ: フェブラリーS(G1)、根岸S(G3)、武蔵野S(G3)
- アドマイヤデイトナ: UAEダービー(G2) ●グレンツェント: 東海S(G2)
- エコロブルーム: ニューゼーランドT(G2)、シンザン記念(G3)2着 ●アドマイヤベル: フローラS(G2)
- フィフスペトル: 京成杯AH(G3) ●ピットファイター: 武蔵野S(G3) ●グラティアス: 京成杯(G3)
- トーセンブライト: 兵庫ゴールドT(Jpn3)2回 ●パワーストラグル: 白山大賞典(Jpn3)

